

議会だより



卒園、卒業風景

学び舎を去り、新たな希望に胸をふくらませ
旅立つ春。“証書授与式”

主な内容

平成17年度美郷町各会計予算	2
その他の議案	6
平成16年度旧3町村各会計決算認定	11
一般質問	12
臨時議会2回	20
人事案件、陳情、請願、自治功労表彰	21
議会を傍聴して、編集後記	22

3月定例会

2月28日～3月10日

事務・事業の統一化に努め限られた財源で 歳入歳出のバランスをとる予算編成

合併後初の美郷町の本格予算を審議する3月定例会は、2月28日から3月10日までの会期で開催しました。町長の施政方針を受け活発な議論を展開しました。

永年にわたり町村政発展に尽くされた功労者への表彰から始まり、旧3町村の平成16年度各会計の決

算認定、条例改正、平成17年度美郷町予算、人事案件、請願・陳情など、上程された51議案を慎重審議の上、全てを原案通り可決しました。

町政に対する質問では、16名の議員による一般質問が行われ、町政について各方面にわたる質問がなされました。

融和と前進を柱に

平成17年度は、実質的な町づくり元年となるため、旧町村の地域を美郷町民として一本化し、「融和と前進」を施策の柱として町政運営に臨んでいく所存である。

予算の編成にあたっては、統一実施が可能な事務・事業は、統一化に努めた。継続事業については引き続き実施する。積み残した事業は、緊急性や財政見通しを判断し実施。美郷町としての新規施策は、地域再認識や交流促進を視点にしている。財政環境の厳しさを踏まえ、限られた財源をもって歳入・歳出のバランスをとり、予算編成をした。
(町長あいさつより)



様々な土地形態をもつ美郷の風景。
新しい農業ビジョンが期待される。

主な取り組み

総務（各種計画等）

- ・ 町民と行政情報の共有化を図るための「美郷町まちづくりガイド」を発行
- ・ 職員の資質向上のため自主研修制度を導入、実施
- ・ さらにより良い行政経営を目指すため、「行政経営プラン」を策定
- ・ 町民歌や町民憲章の策定
- ・ 美郷町の歩みを後世に伝える記録保存事業の実施
- ・ 町づくりを総合的に計画的に推進するため「美郷町総合計画」を策定
- ・ 六郷地区の街なみ環境整備事業を継続実施

透析通院者等への支援

- ・ 介護予防に資するため、はり、きゅう、マッサージ、温泉利用の助成
- ・ 老人保健特別会計において、昭和7年9月30日までに生まれた方、65歳以上の障害者の医療を町が負担

児童福祉

- ・ 保育料の1/2の軽減を図り、子育て環境を整備
- ・ 放課後、保護者不在家庭の小学校低学年の放課後児童健全育成事業を実施

保健・環境衛生

- ・ 検診体制は、早朝からの総合検診の他、乳児検診、

妊婦検診を継続実施

・ 国民健康保険特別会計において、人間ドック受診への助成

・ 仙南の百目木最終処分場

閉鎖基本計画を策定し、環境への影響を監視

・ 生活雑排水の浄化を推進

するため、合併浄化槽の導入、管理費用への助成

・ 簡易水道事業として、黒

沢地区、千畑中央地区、六郷東部を実施。さらに、

羽貫谷地地区では、今後の整備を視野に入れる

・ 下水道事業は、管渠延長約2,000mを敷設

・ 農業集落排水事業では、

汚水処理を適切に行い、生活環境の向上に努める

商工観光

・ 出稼ぎ就労者支援事業を引き続き実施

・ 商業活性化勉強会の開催

・ 誘致企業ガイドを作成して高校等に備え付け、地元企業への定着を促す

農林水産業

・ 担い手の育成と売れる米づくり、複合作目の産地

づくりに資するため、生産組織育成事業や団地化

推進事業、美郷こだわり米確立支援事業、野菜ブランド品目作付け支援事業を実施

・ 畜産振興も期する

・ 基盤整備事業は、継続して事業実施

・ 地籍調査事業は、千畑、

仙南地区の境界調査を実施し、住民の権利財産の明確化を図る

土木

・ 道路整備については、六郷、仙南、千畑地区で整備を継続する

・ 秋田わか杉国体で自転車ロードレースに供用される千畑地区の道路の整備

消防

・ 防災施策の基本となる地域防災計画を速やかに策定

学校教育

・ 小中学校の耐震診断と補強工事の実施

・ 17年度から2学期制を導入

社会教育

・ 生涯学習、社会教育中期

振興計画の策定

・ 中学生を対象に海外研修事業にオーストラリアを

予定

・ 新規事業としてブック・

スタート事業を開始して、赤ちゃんと保護者に

絵本を贈呈

町づくり元年・地域再生・交流促進を視点に

平成17年度
美郷町予算

一般会計 当初予算 117億4,300万円を賛成多数で可決

平成17年度一般会計予算の要望額は、歳出139億円であった。合併に伴う財政支援を含む歳入額がなかなか見えてこない中で新町は、107億円の歳入をはじめだした。旧3町村での積み残し事業への着手、合併の大前提である住民サービスを基本に、最終的に基金を取り崩し117億円を計上した。

歳入

区 分	金額(単位:千円)
1 町 税	1,338,788
2 地方譲与税	336,600
3 利子割交付金	10,300
4 配当割交付金	1
5 株式等譲渡所得割交付金	1
6 地方消費税交付金	175,800
7 自動車取得税交付金	85,200
8 地方特例交付金	39,000
9 地方交付金	5,110,000
10 交通安全対策特別交付金	4,640
11 分担金及び負担金	87,687
12 使用料及び手数料	153,167
13 国庫支出金	954,018
14 県支出金	635,057
15 財産収入	12,232
16 寄付金	1
17 繰入金	707,123
18 繰越金	350,000
19 諸収入	213,385
20 町 債	1,530,000
歳入合計	11,743,000

歳出

区 分	金額(単位:千円)
1 議 会 費	219,703
2 総 務 費	1,536,704
3 民 生 費	2,084,440
4 衛 生 費	733,308
5 労 働 費	3,332
6 農林水産費	925,732
7 商 工 費	473,280
8 土 木 費	1,668,411
9 消 防 費	420,757
10 教 育 費	1,436,330
11 災害復旧費	1,042
12 公 債 費	1,829,958
13 諸 支 出 金	400,003
14 予 備 費	10,000
歳出合計	11,743,000

主な使いみちは、社会福祉費、総務管理費、保健衛生費、教育費、土木費等です。

特別会計予算歳入歳出(単位:千円)

国民健康保険事業	2,224,541
老人保健事業	2,574,760
簡易水道事業	876,873
下水道事業	327,526
農業集落排水事業	215,480

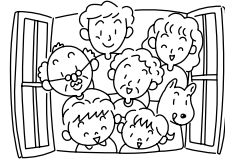
一般・特別会計

総額 179億6,218万円

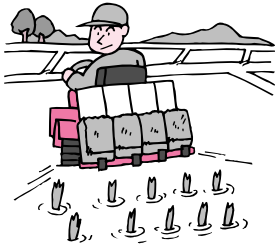
前年比 11.51%減の緊縮予算

十七年度

町民一人あたりの くらしにどう使われるか



当初予算



農林水産業費

町民一人当り 33,760円



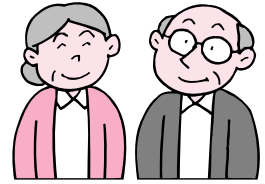
総務費

町民一人当り 89,279円



社会福祉費

町民一人当り 22,357円



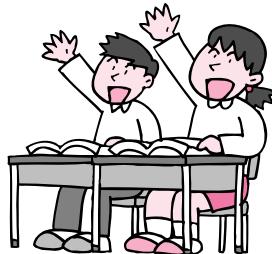
高齢者福祉費

65歳以上一人当り 75,226円



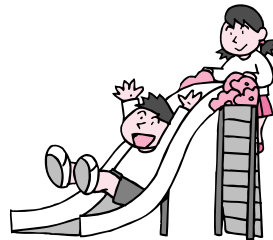
消防費

町民一人当り 17,603円



学校教育費

児童生徒一人当り 417,511円



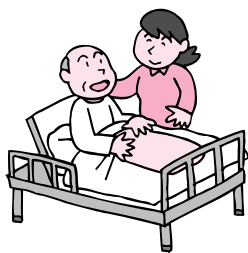
児童福祉費

12歳以下一人当り 338,871円



保健・環境衛生費

町民一人当り 24,918円



老人医療、介護費

75歳以上一人当り 885,509円



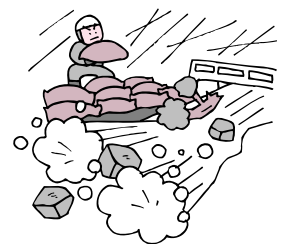
町民医療費

75歳未満一人当り 108,119円



商工・観光費

町民一人当り 19,940円



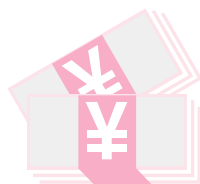
土木・災害復旧費

町民一人当り 55,733円



上下水道費

町民一人当り 62,235円



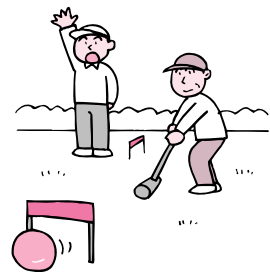
公債費

町民一人当り 76,561円



公園、社会教育費

町民一人当り 16,365円



体育振興費

町民一人当り 7,535円

本会議での主な質疑をお知らせします

平成17年度

美郷町一般会計予算

主な質疑

歳入全般

高橋(猛)議員 予算編成では予定を30億円も上回る要求額で苦慮されたようだが、今後の事業量をどの程度想定しているか。又今後の基金造成の考えは。

合併により地方交付税は変動しないと伺っているが、合併しない場合との差はどれ位か。

総務課長 当分の間、積み残し事業を消化し、取り崩した基金を積み立てていきたい。

合併により国と県から交付税、交付金等で合わせて4億6、500万円が配分される。

斉藤(正)議員 来年度からのペイオフに備え基金等の保管、運用状況は。

出納室長 各金融機関に定期預金している。

歳出全般

議会関係

熊谷(良)議員 議会費の特別旅費は、10月からの22人でみるとすればゼロにするべきではなかったか。

総務課長 年間の予算案でこうなった。

高橋(久)議員 特別旅費の議会の視察は必ず10月以降でなければならぬのか。改選後の予算ならゼロ予算であるべきではないのか。

総務課長 10月以降とかいうものでなく年間予算と認識してもらいたい。

総務関係

吉野議員 ISO1400

1を取得の事業効果とは、PDCAを構築したことなのか。

町長公室長 指摘の通りPDCAサイクルを構築したことが行政にとって一番の効果である。

吉野議員 ISO9001サービスの品質についてはどう考えているか。

町長公室長 現在のところ9001までの拡大構想は考えていない。

杉沢議員 まず一点目、ふるさと会の補助金が3つに分かれているのはなぜか。次に日中友好協会賛助会費の使いみちは。3つ目に交流中の千代田町は、3月28日に合併し、霞ヶ浦市となるがどう対応していくのか。

企画課長 まず一点目は、旧3町村のふるさと会が独立しているためである。次に日中友好費は、日中間の文化、スポーツ交流に使われる。千代田町との交流は町名変更後も継続する。

村田議員 住民基本台帳ネットのカードは保持者が数名にもかわらず、700万円の予算は過剰投資ではないのか。もつとカード内容に付加価値をつけるべきでは。

住民生活課長 1年間の運用で12枚のカードを発行しただけであるが、今後住民の要望を聞いて、カードの用途拡大につとめたい。

武藤(威)議員 納税組合団体数は美郷町では何団体で、収納割合は何%か。他に組合の効果について伺いたい。

税務課長 納税組合数は、177団体あり、収納割合は、61・6%である。効果は、収納割合が非常に向上していることである。

山田議員 町が委託している公の施設の監査体制を充実するため監査委員を常勤とする考えはないのか聞きたい。

町長 さまざまな施設を委託している美郷町である

が、平成18年度から指定管理者制度を導入する中で監査のあり方を検討したい。

武藤(健)議員 納税貯蓄組合連合会補助金と組合員に対する補助金は、納税者に対する不公平で裁判になった経緯がある。このまま補助を、今後も続けるのか。

税務課長 納税貯蓄組合法により事務の一部補助金を助成している。

武藤(健)議員 事務の一部を寄附する額がこんなに高額になるのか。

税務課長 補助を与えてもよい範囲内で177団体に交付するためこの金額になっている。

戸澤(勉)議員 町民歌や町民憲章を制定するということが、町の日を制定する考えはどうか。

町長公室長 この予算上は、あくまでも町民歌、町民憲章の委託料であり、町の日については、今後検討していく。

斉藤（正）議員 住民からの公聴制度の施策の中で、町のホームページに匿名で勝手な書き込みの防止策として登録制にする考えはあるのか。他に、今年、選挙が3回あるが、投票所は以前と同じなのか。

町長公室長 書き込みの中で個人の中傷とかあるが、情報担当が十分に把握し、削除に努める。

総務課長 投票所は、町議は同じ、農業委員は、3ヶ所に縮小する。

高橋（久）議員 監査体制は、2人体制で第3セクターも含めた監査が物理的に可能か。

代表監査委員 自治法で監査委員は、2人と決まっております、2人で協議の上実施していく。

民生関係

泉（美）議員 各種団体への補助金の予算編成について問う。

総務課長 予算要求額から

ヒアリングをして削り、さらに10%削減して組んだ。

武藤（健）議員 10%削減とは、精査してカットしたのか。

総務課長 大きい金額を10%カットした。

武藤（威）議員 温泉利用券は、旧3町村のどこの温泉でも使えるのか。学童保育は、なぜ小学3年生までしかやらないのか。

福祉保健課長 温泉の券は、千畑温泉の保養所のみとしている。

幼児教育課長 学童保育は、事業要綱で小学3年までとなっている。3地域の施設には定員が決まっております、高学年の保育は困難である。

中村（利）議員 透析通院者支援費の内容と対象者数を聞きたい。

福祉保健課長 支援費は、月当たり6、000円で、支援者数は37名いる。

飛沢議員 シルバー人材センター事業について問う。

福祉保健課長 65歳以上の方々の生きがいと多少の収入を兼ねて設置している。社協に委託し、登録者は、202人で、主に軽作業に従事している。

竹村議員 国保と老人保健特別会計は、六郷では保健衛生の管轄であったが、なぜ、合併後住民生活課になったのか。

町長 旧3町村で協議した結果、住民課担当にした。

衛生費関係

齊藤（新）議員 不法投棄監視人は何人か。又、不法投棄発見者報償5万円の理由を聞きたい。

住民生活課長 監視人は、合計10名で推進する。不法投棄現場の発見者には、1回につき1万円の報償を出すように考えている。

熊谷（隆）議員 六郷、千畑地区で今迄実施してきた節目検診は、町民の健康増



献血に協力

進と医療費の引き下げに効果があった。今年から手挙げ方式の人間ドッグにした理由を問う。

福祉保健課長 今までの節目検診の内容は、今年から毎年行う総合検診に全部網羅したので行わないことにした。

泉（美）議員 社会保険加入者への人間ドッグ助成がなくなった理由は何か。

福祉保健課長 社会保険加入者の検診は企業の義務で予算から除いた。

中村（利）議員 環境水質分析調査が、六郷地区が4カ所となっているが、採取する場所が4カ所なのか、廃棄した場所が4カ所なのか。また、業務の委託先の

レベルは。

住民生活課長 六郷地区最終処分場については、敷地内で、地下水の調査を実施、周囲住宅の3カ所において水質調査を実施している。委託業者については、先端技術を持った業者を入札で選定したい。

農林水産関係

谷屋議員 ブランド品目に対する出荷助成が販売額の5%以内となっており、予算は十分に確保されているのか。

農政課長 JAに16年度実績を確認し、さらに伸びを予想して算出している。予想の範囲内であれば5%を助成できる。

齊藤（新）議員 フロンティア農業者研修奨励補助金、120万円は、何人分で年齢に制限はないのか。

農政課長 これは一人分の金額で、年齢制限はない。

永井議員 畜産環境整備事業施設管理運営業務委託料

の中に旧六郷堆肥センター
分も含まれているのか。
農政課長 千畑にあるアク
ティセンターの管理委託料
だけである。六郷の堆肥セ
ンターには、建物の保険料
や必要な作業の実費を支払
っている。尚、18年頃迄に
千畑に堆肥センターを建設
して、六郷分を移す予定で
ある。

佐々木(正)議員 ふれあ
いセンター、直売所、種苗
センターの委託料の内訳
は。
農政課長 道の駅450万
円、ふれあいセンター36
7万円、千畑直売所265
万円、あつたか山230万
円、湧子ちゃん300万円
である。

町長 それぞれ経緯がある
と思うが、今後補助体制を
検討する。
佐々木(正)議員 美郷こ
だわり米がブレンドされる
ことなく販売されるように
確認策を願いたい。
農政課長 そのように処理
していく。

杉澤議員 農村公園6ヶ所
の委託の形態はどうなの
か。
建設課長 6ヶ所ともに地
域への管理委託料である。
齊藤(正)議員 GIS地
理情報システムを農政課、
農業委員会、建設課等に拡
大活用する考えはないの
か。
町長公室長 地図データ
は、16年度の補正予算で合
併体制補助金の方で設備し
たので今後、活用していく。
谷屋議員 町の農業政策を
農家の奥さんたちに説明す
る考えはないのか。
農政課長 集会を開催する

側で受け入れるかをクリア
しないとできない。

商工観光関係
齊藤(新)議員 パークゴ
ルフへの補助はあるのか。
商工観光課長 間違いなく
パークゴルフも計上してい
る。

武藤(威)議員 小規模業
者は町が発注する小規模の
修繕工事の入札に参加でき
ないものなのか。
町長 現在、登録を募集中
であり、関係者の意欲を待
っているところである。

吉野議員 仙南の温泉施設
は、福祉施設と営利目的の
合体型であり、これは、経
営的に無理でないのか。



千畑サンアール

他に、千畑ヘルス観光株式
会社の業務内容が煩雑で整
理すべきではないのか。
商工観光課長 仙南の湯と
びあ雁の里温泉は、6割以
上が福祉施設であり今後
は、経営が見えるやり方を
考えていく。千畑サンア
ールは、雇用の確保という面
から種々業務委託している
が、業務整理は検討中であ
る。

深沢議員 観光推進事業費
については、町民参加によ
る融和、連帯の増進を図る
新たな行事、大会開催の考
えを持っているか。

商工観光課長 新たなイベ
ントの創出については、美
郷町という大きな広がりの中
で実施し、多くの方々が
かかわる融和を目的とした
事業に取り組んでいきたく
い。

永井議員 六郷温泉あつた
か山の源泉の権利の半分は
民間だが不都合でないの
か。
町長 美郷町にある3つの

温泉施設をどう今後、維持
経営していくのか方向性が
出れば、不都合かどうかの
判断に至ると思う。

土木関係
村田議員 町道の維持エリ
アが合併により拡大し、管
理が大変になったが、道路
パトロールの体制について
伺う。次に、今年のように
豪雪と寒冷により広範囲に
傷んだ町道の修理補修に県
融資で有利な凍上債を利用
できないものか。
建設課長 町道維持は、か
なり広い面積になったが、
旧町村単位の中でパトロー
ルをしており、可能かと思
う。それから凍上債は、冬
期間の低温により舗装のひ



町道の舗装作業

び割れ沈下等の場合利用できるが、県に問い合わせたところ豪雪であったが異常低温でないので対象にならないとの見解であった。

吉野議員 17年度、赤城、扇田線に着工するが、この道路は、維持管理の負担から、町道、県道のどちらとして使っていくのか。

建設課長 県と折衝してきたが、県道延伸は絶対だめだということになり町道としての維持管理となる。

消防・防災関係

谷屋議員 地域防災計画について、担当者や消防団員が災害の現場を視察し、作成に役立てる考えはないか。

住民生活課長 早急に策定しなければならぬため、考えていない。

教育関係

齊藤（新）議員 教育関係の報酬について説明願いたい。

学務課長 まず奨学資金の委員である。次に就学指導

委員とは、新入学児の学級編成等をしている。学校評議員は、学校運営について協議をしている、教育相談員は、不登校等の相談をしている、これらの報酬全般である。

深沢議員 中学生の海外研修については、25名の予定とあるが、いつ頃の予定で予算及び補助率はいくらなのか。又、応募多数の場合の対応は。

社会教育課長 時期はお盆頃を予定し、一人当たり33万6,000円の予算で1/2の助成を考慮しており、応募多数の場合については、今後検討する。



学友館（六郷）

村田議員 新規の図書事業のブックスタート事業は、親と子供の繋がりを深める重要な事業を期待している。実施体制を伺う。次に図書購入予算が、六郷学友館220万円、仙南150万円であるが、千畑が50万円と低額で、千畑分を引き上げ均衡させる必要はないのか。

社会教育課長 ブックスタート事業は、乳幼児検診の会場で、読み聞かせボランティアの方や福祉保健課と協議し実施する。図書購入予算は、各々の規模、利用者数、蔵書数を考慮し計上した。今後は、各図書館と学校図書をネット化し利便性に努めていく。

齊藤（正）議員 町の奨学金は、国や県の選考から漏れた人に貸すのか。それと重複して借りられないのか。最後に委託料でバス代行について説明願いたい。

学務課長 選考は、国、県、町共に並行して行う。重複して借りることは認めてい

ない。
幼児教育課長 仙南と六郷の通園バスの運転手を委託することであり、添乗員は、従来どおりと考えている。

竹村議員 学校の警備委託は、夜間だけというのが実際学校への乱入事件は、昼間発生しているので十分な対応はできるのか。

学務課長 日中は、随時学校の内外を巡回して防犯に努めており、夜間だけ警備保障にパトロールさせている。

教育長 あくまでも施設が無人の場合の警備保障であり、指摘の危機管理とは視点が違うことである。一方事件が起きていることへの対策は、検討していく。

山田議員 学校への乱入者の防御策として、さすがまたが配備されているが、ステーションの一番奥にあり、初動撃退に問題はないか。
教育長 学校の条件、職員の数、児童数等を考慮して学校で対応している。

平成17年度美郷町国民健康保険特別会計予算
全会一致で可決

平成17年度美郷町老人保健特別会計予算
全会一致で可決

全会一致で可決

平成17年度美郷町簡易水道事業特別会計予算
飛澤議員 羽貫谷地区に500万円の調査費が計上されているが、結果によりすぐ工事に移行するのか。

町長 調査結果によりできるだけ早期に着工したいと思っている。
全会一致で可決

平成17年度美郷町農業集落排水事業特別会計予算

森元（淑）議員 加入率が70%以上でないと会検にひつかかるのではないのか。
建設課長 確かに県からの指導もあり、現在の加入率は、60%であり、加入率を上げる努力をしていく。

反対 討論 賛成

平成17年度予算

反対討論

泉 美和子議員

私は、本案に反対の立場から討論する。旧六郷幼稚園の預かり保育の廃止などは、子育て支援としての一貫性がないと考える。長寿祝い金の縮小や敬老会記念品の廃止など、後退したものがあふ。合併によりサービスは後退させないと言ってきたが、税金の申告業務を東根地区で廃止したことや、各種検診を早朝だけにしたことは、住民サービスの後退である。また、保健センターを常時開設しない問題は、いまだ住民の納得が得られていない。元のように、常時開設することを強く求めて反対討論とする。

賛成討論

伊藤福章議員

私は、賛成の立場から討

論する。歳入では、旧3町村で格差のある制度の統一化など支出が増大する中で、当初32億円の歳入不足があったと伺っている。特別交付税を計上するなど、その苦慮がありありと伺える。歳出では、経常的経費の抑制に努めるなど、いまだかつてなかった予算編成であったと思う。6月には、新町建設計画を包含した美郷町の基本構想も策定され、財政にも明るさが増してくることも予想され、今後一層の経費の節減が図られることを期待し、一般会計歳入歳出予算に賛成する。

3月定例会で 審議された その他の議案

美郷町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について

全会一致で可決

美郷町振興基金条例の制定について

ついて

吉野議員 この基金の主な使い道と減債基金との違いについて

町長公室長 この基金は合併特例債を財源として基金積立をし、運用益をコミュニティ事業等に充てるものであり不必要となつた時はとり崩し償還財源とする事ができるものである。

全会一致で可決

美郷町公の施設における指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定について

青藤（正）議員 この制度をどの程度導入していくのか、また情報は保護されるのか。

町長 人事管理等を考慮して判断していくが、すべての施設への活用は考えていない。

総務課長 情報漏れのない様に調査選定していく。

全会一致で可決

美郷町立幼稚園授業料徴収条例の制定について

武藤（威）議員 授業料滞納3ヶ月出席停止の根拠は、幼児教育課長 旧3町村の条例を採用したが、実際対象になつた例はない。

賛成多数で可決

美郷町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

全会一致で可決

美郷町町長、助役及び収入役の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

吉野議員 11月の合併時に決められた条例がすぐ改正される経緯は、

総務課長 合併時には国の条例を参考にしたが、今回は町の財

源が厳しいので全廃する事にした。

全会一致で可決

美郷町職員等の旅費に関する条例の一部改正について

全会一致で可決

美郷町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

賛成多数で可決

美郷町特定地区公園条例の一部改正について

全会一致で可決

六郷町立幼稚園預かり保育の実施に関する条例の廃止について

泉（美）議員 幼稚園の預かり保育条例廃止すべきでない。

幼児教育課長 保育園での対応が制度上も料金においてもなじむし、サービスもよくなる。

賛成多数で可決

町道の廃止について

全会一致で可決

町道の認定について

全会一致で可決

町道の変更について

全会一致で可決

市町界の変更について

全会一致で可決

秋田県町村土地開発公社定款の一部を改正する定款

全会一致で可決

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

全会一致で可決

美郷町簡易水道事業特別会計への繰入額について

全会一致で可決

美郷町農業集落排水事業特別会計への繰入金について

全会一致で可決

工事請負契約の一部変更について

全会一致で可決

美郷町公衆トイレ設置条例の一部改正について

全会一致で可決

平成16年度美郷町一般会計補正予算第3号

全会一致で可決

平成16年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第2号

全会一致で可決

平成16年度美郷町下水道事業特別会計補正予算第1号

全会一致で可決

平成16年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算第1号

全会一致で可決

議員提出
町長の専決処分指定事項に関する決議について

全会一致で可決

食料自給率の抜本的向上を求める意見書の提出について

全会一致で可決

米価暴落の異常事態に関する意見書の提出について

全会一致で可決

安心して子どもを生み育てていけるように現在の乳幼児医療費助成制度の維持を求める意見書の提出について

全会一致で可決

地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改正を求める意見書の提出について

全会一致で可決

美郷町農業集落排水事業特別会計への繰入金について

全会一致で可決

平成16年度 千畑町一般会計及び特別会計決算書

区 分	歳入総額	歳出総額	実質収支額
一般会計	30億6,836万円	28億2,195万6千円	2億4,640万4千円
特別会計	11億8,657万8千円	10億4,595万8千円	1億4,061万9千円
1 国民健康保険	5億4,377万4千円	4億3,931万7千円	1億445万7千円
2 老人保健	4億7,267万円	4億5,236万9千円	2,030万1千円
3 簡易水道	9,632万7千円	8,382万1千円	1,250万6千円
4 農業集落排水	7,377万4千円	7,041万8千円	335万5千円
5 土地取得	3万3千円	3万3千円	0円
基金残高	国民健康保険事業基金、地域福祉基金ほか8基金で6億4,915万9千円		

平成16年度 六郷町一般会計及び特別会計決算書

区 分	歳入総額	歳出総額	実質収支額
一般会計	21億6,304万5千円	19億5,247万1千円	2億1,057万4千円
特別会計	9億9,093万円	9億1,046万6千円	8,046万4千円
1 国民健康保険	3億9,722万5千円	3億5,248万6千円	4,473万9千円
2 老人保健	4億7,328万4千円	4億5,706万3千円	1,622万1千円
3 簡易水道	1,790万円	993万4千円	796万6千円
4 下水道	9,396万6千円	8,326万4千円	1,070万2千円
5 奨学資金	855万5千円	771万9千円	83万6千円
基金残高	財政調整基金、土地開発基金ほか6基金で4億7,289万9千円		

平成16年度 仙南村一般会計及び特別会計決算書

区 分	歳入総額	歳出総額	実質収支額
一般会計	34億4,269万1千円	31億257万2千円	3億4,011万9千円
特別会計	12億5,879万4千円	10億1,216万1千円	2億4,663万3千円
1 国民健康保険	4億4,989万1千円	3億4,698万8千円	1億290万3千円
2 老人保健	5億5,941万円	5億3,689万8千円	2,251万2千円
3 簡易水道	1億7,556万3千円	1億143万2千円	7,413万1千円
4 農業集落排水	7,393万円	2,684万3千円	4,708万7千円
基金残高	財政調整基金、減債基金ほか8基金で9億8,059万6千円		

旧町村の実質収支状況は12億6千481万3千円、基金残高の合計は21億265万4千円。

旧3町村
決算認定

平成16年度旧3町村の一般会計及び特別会計決算認定については、監査委員の意見書を添えて提出された。慎重に審議し、原案どおり全会一致で認定した。

一般質問

町長に16人の議員が問う



村田 薫 議員

質問

町が提示する予定価格よりかなり安価な受注をした後に、適当な理由をつけて契約を変更し発注する追加支払いは、住民の多くが疑問を持っている。公共事業



齊藤新一郎 議員

質問

町北部としては5年前から本堂の城跡に白鳥が飛来し、子供達に白鳥の餌付けや雪遊び、城跡の文化を活かし、白鳥の飛来する美郷町をPRしたいと思う。また中央地区は伝統ある「た

質問 契約のあり方について

契約の中で突出している2点について考えを問う。

コスト効率化に留意する

答弁

で町側の考えは。

1、建築、土木関係は発注数の相当数に工事請負契約の変更が見られ、年間の追加支払い総額が数千万円に達している。馴れ合いの存在を持たざるを得ないもの

2、コンピュータシステムの情報技術（IT）部分の開発、運用には精通した職員がいなかったため、業界のいなりにより公費が支出されている。情報化推進施策を予算、制度、組織の各面から検証して、効率化や不透明

質問 子供達を中心に各地区の特色を活かした冬の行事の創作について

積極的に支援したい

答弁

けうち「や」かまくら」があり、町として今まで以上の支援をし、盛り上げていく行事だと思う。南部地区として雁行の乱れで知られる西沼を飛び交う雁（かり）が町の鳥として推奨されたのを契機に、全町の子供達に知って頂きたい。またこ

の地域で冬の行事、冬の自然を利用した新生美郷町のイメージ作り、PRイベントを計画したらと考えるが、町長、教育長に所見を伺いたい。

答弁 町長

美郷町において冬の行事は、さまざまな視点で意義

な支出防止、さらに低コスト化を図る取り組み策は。

答弁 町長

工事請負契約の変更は、工事を進めていく過程においてさまざまな状況の中で、当初設計にない案件に対応していかねばならないため、増額や減額あるいは工期の変更等が生じてくるものである。契約変更にはそれぞれの理由があり、決して馴れ合いという

訳ではない。

IT関係については、合併に伴い電算管理部門と情報推進部門と統合して情報推進班を設置し、電算関係の保守契約関係を集中管理することで、これまで以上にコスト効率化を図れるものと期待している。専門知識を持った総合アドバイザーの活用も検討し、今後コスト効率化に留意してまいりたい。

がある。新しいイベントの開催、今ある行事の拡大、この両面に対する取り組み方を関係団体や住民の声を聞きながら十分に考え、町民参加型あるいは町民主導型のものとなるよう努めてまいりたい。

答弁 教育長

美郷町の冬の行事を代表するものとして六郷のかまくらがあり、国の無形民俗文化財として継承することが最も大事なことである。

また、地域にはその地域に根ざした伝統の行事がたくさんあり、地域の方々の盛り上がり期待し、積極的に支援してまいりたい。教育の中では、美郷町の歴史と暮らしについての学習教材を作成し、子供達に理解していただくために活用していきたい。



戸澤 勉 議員

質問

一、第三セクター千畑ヘルス観光株式会社の経営と運営について

町からの委託業務内容と補助金事業内容及び金額について資料の提出を。成果と評価を基に見直し対策



森元 淑雄 議員

質問

老人福祉計画は、介護保険事業計画を含む総合的な計画として位置づけられ、すべての高齢者を視野に入れた上で、介護保険の対象外である老人福祉サービスを始めとするさまざまな関

質問 千畑ヘルス観光について

把握し検討したい

答弁

は。

全体像が複雑であり、

機構図の提示を。取締役員

の在任中における親族の社

員採用の有無は。町民から

役員に対する公私混同と信

頼性を問う声には。

浴室も完成し喜ばれて

いるが、会社発注により税

金の発生内容と債務返済計画について。

自立に向けた業務改善

方法と社員教育の向上対策

は。

3 温泉施設の統合を進

めるべきでは。

二、地域循環バス、乗り合

いたクシーの運行実現に向けた取り組みについて。

答弁 町長

16年度の委託料等は約

8、200万円で、環境の

変化や指定管理者制度等を

踏まえ最良方法を検討する。

取締役の親族等が社員

として複数名在籍してい

る。採用の経緯等を把握し

検討したい。

JAから15年償還で3

億円を借入し、町が同額補

助する。不動産取得税と固定資産税が発生し、650万円を同額補助する。

会社の自助努力と町も

検討する。

経緯や事情は違うが統合

が望ましく模索したい。

二、乗合タクシーの試験運

行の結果も踏まえ、推進の

あり方を深めたい。町内の

赤字八路線バスの負担は約

1、300万円である。

質問 介護保険制度について

見直しと合わせて再検討していく

答弁

連施策をもとに策定されたものと解釈している。

介護保険制度が施行5年

後の見直し時期を迎える

今、町村合併に伴う美郷町

独自の具体的サービスの内

容は何か。また、平成17年

度の介護保険給付金である

施設利用給付金と在宅サー

ビス給付金の見込み額を合わせて伺いたい。

介護保険制度改革に伴

い、平成17年度中に老人福

祉計画を見直し、あわせて

大曲仙北広域介護保険事業

計画の見直しも行う予定と

伺っているので、両計画の

整合性を図るよう留意して取り組んでまいりたい。

町独自の高齢者福祉サー

ビスは、針・灸・マツサー

ジの施術費助成、特定温泉

の無料券、あるいは介護手

当の支給といった事業を行

なうこととし、新たな老人

福祉計画と合わせて再検討

していく。

平成17年度の介護給付見

込み額は、施設介護サービ

スが前年度対比2・03%

増の総額52億3、769万

3千円で、在宅介護サービ

スが前年度対比9・76%

増の総額39億3、596万

1千円である。



山田鐵之助 議員

質問

明治年間に県内で起き、記録に残る地震は明治29年の陸羽地震だ。その際地表に出たのが千屋断層である。長い間の研究成果から「この断層は今後もマグニチュード7以上の地震を発



武藤 威 議員

質問

私は議員になって十数年、これまで欠かすことなく、毎年四、五回町内を隅々まで見て、途中お会いした方々とお話をし、一般質問に生かしてきた。今定例会は、大事な予算議会

質問 防災行政無線の整備を早急に

事例調査を行い、検討

答弁

生させる断層である」と同時に、しかし活動間隔が3千500年程度と判明しており、近い将来大きく活動する可能性は極めて少ないものと結論付けている。美郷町地域防災計画の中に、私は地震が発生した際避難の遅れ...という原因で

救える命を救えなかったという大きな教訓から、全県でも整備率が67・5%という防災行政無線の整備を早急に策定し、いつ来るかわからない震災に対し、一分一秒でも早く命を救える命綱の整備を重ねて願うものである。

答弁 町長

いつ来るかわからない災害について備えをしておくことは大切なことと理解しており、また災害発生時に有効な情報伝達システムを整備しておくことは大変に大切なことと認識している。防災無線については、仙北町や田沢湖町で整備されているので、こうした事例調査を行うとともに、町の防災計画策定に当たってそ

の整備の必要性などを検討してまいりたい。

再質問

地域防災計画をいつまで策定するのか。

再答弁 町長

新年度早々に着手し、極力早く策定したい。

質問 予算の編成について

事務事業の統一化に留意

答弁

だ。地方交付税削減など財政的に厳しい中での運営について各部門の長の意見を一言ずつ伺う。千畑スキー場の問題点についても伺いたい。スポーツ少年団等のバスの利用状況について問題がないか。次に保育園、幼稚園の保育料、授業料に

ついてだが、なぜ階層に負担割合したのか、旧千畑の例なら、非課税の世帯は無料だったはずだ。コクドのことについて、テレビや新聞でも話題になっている。関連のある問題なのか、どうなっているのか、伺う。

答弁 町長

予算の編成について、各課長に伺うとのことだが、私がまとめて答弁したい。大変厳しい状況下の作業をご理解していただき感謝する。編成に当たっては、住民生活に欠くことのできない取り組みを守っていくことを基本に、旧町村が実施してきた各般の事務事業の統一化に留意。継続事業は規模を再検討しながらも引き続き実施する。積み残し事

業については事業の緊急性、財源見通しを判断の視点にした。新規施策は、地域認識や交流促進に留意した。保育料、授業料については、所得制限を設けず、状況に応じて減免措置もある。送迎バスについては利用しやすいように配慮する。千畑スキー場及びコクドについては、問題がまだ完全に把握できていない状況だ。



吉野 久 議員

質問

昨年実施した小・中学校耐震診断の結果、文部科学省で改修が必要としたIs値0・7以下の学校の中で、特に六中体育館がIs値0・09と判定された。この体育館は、昭和26年



谷屋 誠市 議員

質問

町内には多くの独身の人が増え続けると子供が減り、世帯が減ってしまう。将来を担う人達が少なくなると、集落や町の将来を案

質問 六中体育館を新設せよ

17年度内に方針を決めたい

答弁

建設され老朽化が著しく、現在、万が一の事態に備え

竣工のアスパル建設自体が課題の先送りだったかもし

果だった。現在、使用中

だ。アスパルの、町民総合

中プールや旧合宿所の取り

か。

答弁 町長

耐震診断では体育館に補

質問 結婚相談業務の今後の方針は

各般の施策を推進

答弁

若者たちの考え方やライ

フスタイルが変化し、結婚

はいられない。従来の方法

イベントなどでの出逢いの

できるだけのことをする必

要がある。

長期的には働く場の確保

環境整備を進め、若い人た

て工夫と努力が必要だ。

にも、一組でも多くのカッ

止し、暫定的にアスパルを

利用してもらっている。早

急な対応が必要だが、現在

ある。その為、整備につい

では現在の体育館の補強工

は解体費用と新設工事費用

と今後の位置づけなどを十

分比較検討し、17年度内

プールの誕生するよう、町と

答弁 町長

結婚相談員同士が情報交

活動では、成果を出しにく

イベントなどさまざまな人

に多くの未婚の方々の参加

の場、結婚への機会を提供

いては、校舎の耐震補強工

事など優先すべき課題があ

アスパル周辺整備について

も六中体育館の方針が固ま

年次計画を策定すべきだ。

各施設の対応状況を踏ま

え、見通しがつきのを待つ

していきたい。

具体的には町長公室を窓

答弁 町長

進計画のアクションプラン

の出会いを推進していく。

若い人の定住、人材確保

一般の施策を推進していく。



中村美智男 議員

質問

農業情勢の厳しい中、美郷町の耕地面積の90%が水田であり、町の基幹産業となる農業の発展が地域づくりの鍵と認識した上で、合併を契機に営農意欲を促す

質問 美郷町特産作物の産地化づくりについて

下から積み上げていく

施策が必要であると考え
る。旧3町村を見ても米依
存度が高く、農業所得の伸
び悩みや減反の政策の長期
化を見据え、転作田に適作
を取り入れた美郷町をアピ
ールできる特産作物の早期
導入と産地化づくりが必要

と
思うが。

答弁 町長

特産作物、特産品は美郷町の農業振興上、大きな意義があり、適地適作を前提とした特産物開発に向かつてまいりたい。まずは旧3町村のこれまでの取り組み

を尊重するとともに、さらに拡大できるものがないか、また新たに取り組んでいくものを模索できないかといったことを農業団体、商工業者、流通業者、消費者等さまざまな観点で意見交換をして、今後の方向づけと美郷町をアピールできるように開発に努めてまいりたい。

旧町村において特色ある取り組みがなされており、さらに地域のPR効果も期待でき、対外的な認知度向上や地域振興にもつながる取り組みである。そのため、地域の特色をお互いに知り、そして理解した上でその取り組みを下から積み上げていくことも大切である
と考える。



飛澤龍右エ門 議員

質問

合併から早くも4ヶ月が経過した。今、町民が町長に注目している事は、人事の選任ではないか。合併以来、今日まで何かと事務的な仕事に追われてきたと思う。新年度に入り多忙な日々が続くなか、事業を適

質問 助役、収入役選任について

本定例会に提案

答弁

切に遂行し、町民の負託に答える為にも安心して任せられる助役、収入役が必要不可欠かと思われる。町長の考えを伺う。

答弁 町長

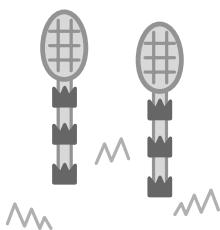
私が就任して以来、美郷町の行政推進を三つのレールから一つのレールに乗せるための事務的な調整作業

や新年度の予算編成作業、あるいは16年度事務事業の推進、町内外の各種会議への出席など何かと忙しい日々を過ごしている。

実質的な美郷町のまちづくり元年となる平成17年度のスタートを前にまちづくりに向けた事務事業を遅滞なく効率的に遂行していく

上で、美郷町の基礎をしっかりと築き町民各位の負託に答える為、助役・収入役はぜひとも新年度から配置させていただければありがたい。

これまでさまざまな視点で人選を考えてきた。現在、その最終的な詰めに入っているとところだ。ここ一兩日中に詰めの作業を終了させ、本定例会会期中に人事案件を追加提案させていただけるよう頑張つてまいりたい。





泉 美和子 議員

質問

県が乳幼児医療費を有料化しても、町として独自に上乘せし無料化を維持するべきだとの12月議会での質問に、町長は財政上難しいと答えている。無料制度維持を求める世論の盛り上がり

質問 乳幼児医療費について

県に要望している

答弁

りの中で、県も六月議会後にはつきりすると変化してきている。お母さんたちの願いに応えるためにも町が厳しい中でも、可能な努力をしながら県を動かしていく流れを今、つくる事が大事ではないか。一度に無理なら段階的支援、継続も考

答弁 町長

乳幼児医療無料制度は町としても財政事情が許せば現行制度が望ましいと考え

ている。制度が継続されるよう県に要望しているところだ。町単独で現行制度を継続することは財政的に厳しいと考える。総合検診については早朝の方が希望する検診が一度に受けられる上、検診結果の正確さ等のメリットがある。夜間検診は実施時間として不適切だと言われているので避けたい。追加検診は合併により検診実施日が長いので別会

場でも受診できる。休日検診については今年度受診状況を踏まえて検討したい。除排雪についてだが、今年度はまれに見る豪雪で職員も必死に頑張っている。一定のルールのもとで公平に推進しているのでご理解いただきたい。



武藤 健 議員

質問

新年度を迎えるに当たり、統一することによる問題を二、三の例を引き町民の皆さんにとってよりよい方向に進めていただきたい。一つ目は納税相談日の東根地区の出張相談の廃

質問 統一することの問題点

理解される形で実施

答弁

止、二つ目は公民館、体育館の月曜休館、三つ目は保健センターの職員常駐の廃止である。旧三町村は財政事情から合併せざるを得なかった訳だが、それぞれの町村が長い間に決めた事にはそれぞれのよさもある。合併により統一する場合で

答弁 町長

も様子を見ながらじっくりと町民の皆さんが納得できる形でやるべきだ。次に災害時に役立つ防災ハンドブックを各世帯に配布していただきたい。また夜間や休日などの非常時の連絡体制は機能しているか伺う。

三つの例を上げて統一化の見解を問われたが、一つ一つ状況を話す。税の申告はそれぞれの庁舎で実施することで現体制になった。東根地区の廃止については周知しなかったことは指摘のとおりで今後周知については十二分に配慮する。公民館の休日はアンケートを取り生涯学習の中期計画を策定する段階で今後の取り扱いを検討したい。保健セン

ターの職員常駐については、町民の健康維持を推進する観点から保健センター機能の望ましいあり方を検討しつつ17年度は現体制で18年度から新ゴールドプランでありようを検討する。今後も統一は時間をかけて住民に理解される形で実施する。防災ハンドブックは配布する考えはない。夜間休日の非常時の機能は確立している。



熊谷 隆一 議員

質問

新しい町、美郷町でも基幹産業は農業である。中でも米の占める位置は高いと思われるし、米を中心とした施策が、美郷町農政の柱として位置づけられていくと思う。一方、米の消費量は年々減り続け、一人当たり



斉藤 正衛 議員

質問

交差点の視界の確保、スクールバス乗り場の確保、特に狭い町道、生活道路の除排雪の要望がある。高齢化を考えれば、地域を含めた対策も必要だ。これらを考慮した作業マップと作業マニュアルが必要と思う

質問

美郷町朝ごはん条例制定を

朝ごはん食べよう運動を

答弁

60kg以下となり、この事が米価低迷の原因とされている。最近朝食を食べない人が増えていると言われているが、これは健康の面や、子供達の学習面等においても良くないとされている。

そこで朝ごはん条例を制定し、食生活の改善や地産地消の推進、食育推進、安

全安心な農産物の供給、米文化の継承等、健康の面や文化の面を考え、併せて足元から米の消費拡大に取り組むために、美郷町朝ごはん条例の制定を望むものである。

答弁 町長

朝ごはん条例については青森県鶴田町等全国で2町

質問

除排雪対策について

全力で対処した

答弁

が、どうなっているか。

市街地の狭い交差点のロータリー車での排雪作業は、他の車両との接触の危険がある。安全運行マニュアルはあるか。

車外での作業員の安全確保が必要と考えるがどうか。狭い道の排雪作業のため、小型ロータリー導入と

ダンプ等の運転要員が必要と考えるがどうか。

また除排雪を考慮した側溝の整備を求める。来季に向け、十分な対策を取るべきだ。

答弁 町長

現在の除排雪体制は出勤基準が降雪量10センチ以上、早出が午前二時半、普

村ほど制定している。条例の内容はごはんを中心とした食生活の改善を柱に、生活習慣の見直しや、安全安心な農産物の地産地消、食育の強化、米文化の継承等が盛り込まれている。反響は大きく、賛意と共に異議もあつたようだ。

条例の制定は地方自治法において、住民の権利と義務の関係、使用料の徴収、国の法令による場合と規定されている。

町民の食生活実態等を把握

通が午前八時半、除雪車は委託も含めて62台となっている。今年はまだにみる豪雪で、除雪関係者も懸命に努力した事を理解願いたい。

除排雪の作業マニュアルは特に無いが、安全確保に留意しながら除雪している。特に危険な交差点は交通安全協会と協議して基準となる目標物の設置を検討したい。

ロータリー車等については交通量、道路構造などを

握してから条例化の検討をした。趣旨には賛同するので17年度は学校やこれまで同様の活動をしている団体等と連携を図り、仮称だが、美郷町朝ごはん食べよう運動を展開してまいりたい。

考慮し、必要な所へは誘導員を配置し、安全確保に努めたい。

車外での作業員の安全対策としては、保安帽と反射材使用のベストなどを装着させたい。

小路の排雪作業について、今後は小型ロータリーの使用も検討したい。

側溝は雨水の処理のため整備されており、水の確保とあわせて一般的に除排雪への対応は無理である。



中村 利昭 議員

質問

3庁舎に総合サービス課が設置され、六郷庁舎には総務課、町長公室と類似した業務に加えて、今定例会の一般質問で、助役、収入役の人事の質問に対して、近々に対応すると答弁して

質問 組織改革と職員教育について

柔軟に考えてまいりたい

答弁

えてまいりたい。

質問

組織改革と職員の教育は一体であり、組織とは少数精鋭で、効率的に物事を遂行すべきと考え、17年度の予算執行に当たって、どのような人事、機構改革を考えているのか。

答弁 町長

組織がしっかりするためには、しっかりした職員が必要であり、職員教育の実

施を考えている。公僕として、社会人として当り前のことを当り前に。管理職が自ら意識をもって、来庁者に対応するとともに、部下職員を指導していくよう努めてまいりたい。17年度から町単独事業として、職員自らの発意を重んじた自主研修制度を実施し、能力開発に対する意欲を喚起して人事面に反映させたいと考えている。

進も必要と思うが。

再答弁 町長

販売推進のためのイベント等の開催に対する支援や、学校給食への連携について進めてまいりたい。



深沢 義一 議員

質問

美郷町地域水田農業ビジョンを今年4月に策定する予定とあるが、国の農政展開が担い手への施策集中へと進むうとしている中において、担い手の確保から土地利用集積については早急

質問 美郷町農業政策について

支援策の構築と世話役活動の実施

答弁

に進めなければならぬと思うが、町長及び農業委員会会長の考えを伺いたい。

答弁 町長

担い手としての認定農家や農業生産法人、あるいは営農集団等に円滑に利用集積が図れるように集落での話し合いに対して町独自で

支援策を講じるとともに、団地化や集積化に向けた取り組みにも支援策を講じてまいりたい。

まいりたい。

答弁 農業委員会会長

次のことを重点に地域に密着した世話役活動をしてまいりたい。

既に定めている委員の

再質問

地産地消のより一層の推

第一回臨時議会

1月18日開会

1月18日開会し、議案5件をすべて全会一致で可決し即日閉会した。

・政治倫理確立のための美郷町長の資産等の公開に関する条例の制定について

・美郷町総合計画審議会条例の制定について

・平成16年度美郷町一般会計補正予算

歳入歳出それぞれに9、

第二回臨時議会

2月8日開会

2月8日に開会し14件の提出議案をすべて全会一致で可決し即日閉会した。尚一部案件のみ記載致した。

・工事請負契約の一部変更について(4件)

いずれも、契約の金額のみの変更で、内容等は次の通りです。

16年度黒沢地区簡易水道施設整備工事請負契約。8、085万円を9、408万円、400円に変更。
東部地区簡易水道配水池

12億714万9千円で、歳出は、療養給付費等負担金返還金156万5千円、予備費83万1千円。

・平成16年度美郷町老人保健特別会計補正予算

歳入歳出それぞれに38万7千円を追加し、総額15億5、907万9千円で歳出は、医療給付費183万5千円、償還金205万2千円。

取得する財産

消防団員絆天、消防団員活動服一式、各450着
幹部等盛夏服一式25着
取得金額 589万5、750円

契約の相手方
ミドリ安全秋田(株)横手営
取得する財産

六郷・仙南保育園厨房備品一式
取得金額 1、097万2、500円

契約の相手方 (株)アイホ
1盛岡(営)

いずれも指名競争入札による契約取得。

常任委員会報告

産業建設常任委員会

【農政課関係】

平成16年度転作状況

転作面積と作付け状況、戦略作物作付け状況、17年度転作率について慎重に審議し、地域間の転作配分率の一律化、戦略作物については消費者ニーズに因應する産地化等の意見を付けた。

畜産農家状況

全町家畜頭数状況、排泄物処理状況等を取り上げ、堆肥処理に苦慮しており、堆肥センターの早期建設の希望と加工販売促進の意見を付けた。

農産物ブランド化

施策、指導状況、特別栽培米の作付けについて審議し、生産販売戦略が必要との意見を付けた。

【建設課関係】

平成16年度発注工事内容

町単独事業(内容・進捗)について審議し、利便性と費用効果を考える意見を付けた。

除雪について

苦情の多い箇所への対応と交差点等の除雪は丁寧

すべきとの意見を付けた。
教育民生常任委員会

【教育委員会関係】

学校統合について

今後の教育方針、少子化に伴う学級編成について審議し、ゆとりある学校教育や支援を要する児童の増加に伴い、教員の増員と30人学級を求める意見を付けた。

幼保一体特区について

施設管理上の問題を取りあげ、一体的な運営のもと、保育園、幼稚園の特色を生かす意見を付けた。

スポーツ少年団のあり方

活動と統合等について審議し、少子化で団の存続も懸念され、統合の必要も考えられる。また種目によっては、単独校しか参加できないので県本部に要望すべきとの意見を付けた。

公民館、保健センター施設利用

全町スポーツ大会計画について審議の結果、施設利用率向上のため広報の活用、開閉館日は利用者と協議すること。新町が早く一体となれる事業の開催を要望する意見を付けた。

助役の選任に同意

助役として、次のとおり選任することに同意しました。



佐々木敬治
(六郷)

収入役の選任に同意

収入役として、次のとおり選任することに同意しました。



坂本 昇一
(千畑)

人権擁護委員に同意



高階 昭男
(千畑)

議員表彰

全国町村議会議長会定期総会で永年にわたり町、村政の発展に尽くされた功績により、次の議員に対し、本会議において表彰状の伝達が行われました。

15年表彰



高橋 隆治
議員



伊藤 福章
議員



佐藤 時夫
議員

2月18日の秋田県町村議会議長定期総会で、永年にわたり町、村政の発展に尽くされた功績により、次の議員の方々が表彰されました。

議長6年以上



後松 一成
議長

議員23年以上



伊藤 光明
副議長



泉谷理毅男
議員

議員11年以上



福田 守
議員

陳情

以下の5件を採択して意見書を提出しました。

食料自給率の抜本的向上を求める請願

農民運動秋田県連合会

米価暴落の異常事態に関する請願書

農民運動秋田県連合会

安心して子どもを産み育ていけるように現在の乳幼児医療費助成制度の維持を求める陳情書

乳幼児医療費助成制度の維持を求めるネットワーク代表委員 吉田慶子 他

「乳幼児医療費無料制度」に自己負担を導入せず現行制度の継続を求める陳情書

新日本婦人の会六郷支部 深沢ヒロ子

地域別最低賃金の引き上げと最低賃金制度の改正を求める陳情書

秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 他

以下の4件を継続審査としました。

「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情書

日本国家公務員労働組合連合会

中央執行委員長 堀口士郎

公共サービスの低下をもたらす「市場化テスト」官民競争入札の反対を求める陳情書

秋田県労働組合総連合 議長 日野 充

秋田県公務員共働会議 議長 佐藤 憲雄

住民の生活と地方経済を悪化させる公務員賃金の「地域給」反対を求める陳情書

秋田県労働組合総連合 議長 日野 充

秋田県公務員共働会議 議長 佐藤 憲雄

確実な税源移譲、交付税の拡充による自治体財政の確立、公務・公共業務を後退させる「市場化テスト」

反対、地域経済に悪影響を及ぼす「給与見直し」に反対することを求める陳情書

日本自治体労働組合 連合秋田県本部

中央執行委員長 伊勢孝志

議会を傍聴して

3月定例会では、述べ42人の傍聴者がありました。行政への関心の高さが伺われました。傍聴者の声を掲載させていただきます。

一般質問を全部傍聴した感想は、行政への苦情は、質問でないので議場で町長に尋ねるものでないと感じた。また、一般質問になじまないものもあり議員さんの勉強の格差を感じた。

時間の無駄を感じた。
初めて傍聴をさせていただきました。除雪対策について質問が出ましたが、豪雪により農産物等に対応する被害についてもっと質問がほしかったです。

議員の顔が見えないので議席表を渡してほしい。

責めるような質問を何回も繰り返す、

貴重な意見等ありがとうございました。



議会広報 先進地視察研修訪問 を受ける

去る2月16日岩手県安代町の議長及び議会広報特別委員会一行7名が当町議会広報委員会を訪問し研修されました。



議会の動き

2月
2日 教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
3日 産業建設常任委員会
8日 平成17年第2回臨時会
議会全員協議会
24日 総務常任委員会
議会全員協議会
28日 平成17年第3回定例会
(～3月10日)

3月
2日 総務常任委員会
教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
17日 議会広報特別委員会
23日 議会広報特別委員会
28日 議会広報特別委員会

4月 1日 議会広報特別委員会

美郷の里

美郷町議会だより第3号をお届けします。今回は、2回の臨時議会と3月定例会の内容についてお知らせします。

旧3町村の平成16年度歳入歳出決算、平成17年度一般会計・特別会計予算、助役、収入役などが決まり、新町政が本格的に動きはじめました。

なお、議会だよりを目の不自由な方々に、より良く知っていただくようにカセットテープを発行しております。希望される方は議会事務局までご連絡ください。インターネットを通してもご覧いただけます。アドレスは下欄を参照ください。



美郷町ホームページ <http://www.town.misato.akita.jp/>